

② 激甚化・多様化する自然災害から県民の命と暮らしを守るための事前防災・減災対策の推進

● 洪水を防ぐ

1 河川の改修

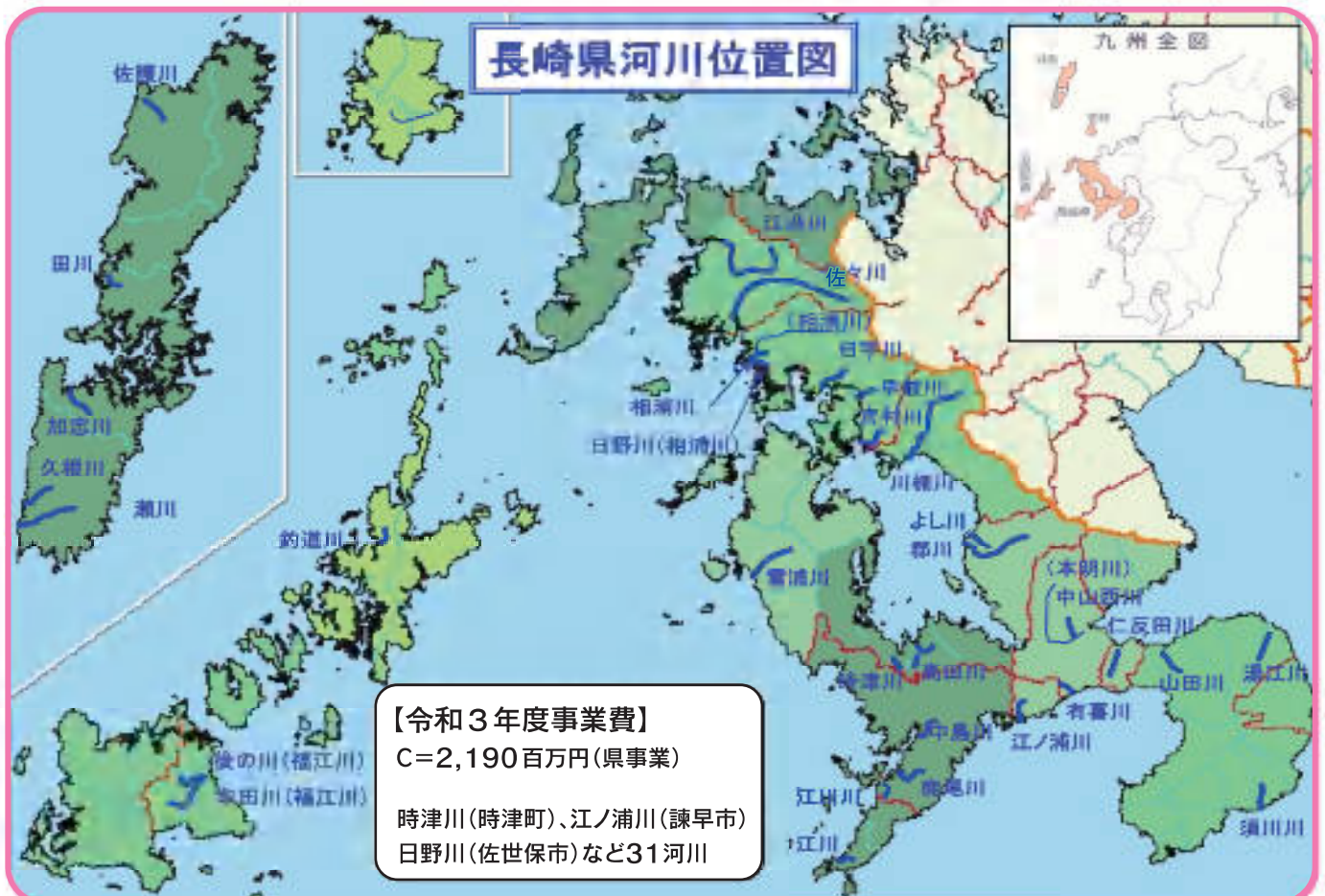
問合せ先 河川課

本県は、これまで幾度と無く集中豪雨による洪水に見舞われ、近年でも毎年のように浸水被害が発生していることから、洪水から沿川の人命や財産を守るために、河川の改修を推進します。

浸水状況



○目標・成果指標【河川沿川の浸水被害軽減】 29,252戸(H26) → 30,162戸(R2)
河川を整備することにより、浸水被害を被っていた河川沿川の**浸水戸数を軽減**する。



郡川河川改修事業

二級河川郡川水系郡川は、昭和51年9月の台風により、床下浸水1,640戸、床上浸水389戸、家屋の全半壊82戸、死者4名、田畑冠水等の甚大な被害が発生した。

このことから、平成9年度～令和12年度までに河道拡幅、河床掘削、橋梁架替、堰改築等の河川改修を行うことにより、浸水被害の軽減を図る。

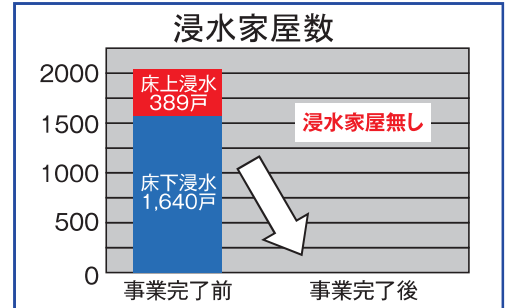
【全体計画】

河川名：二級河川郡川水系郡川
 事業内容：改修延長L=8,970m
 河道拡幅、河床掘削、橋梁架替、堰改築等
 全体事業費：7,720百万円（国費3,860百万円）
 事業期間：H9～R12
 施工地：大村市

【令和3年度予算】

事業費：290.0百万円
 工事概要：JR橋梁架替等

事業効果



二級河川郡川水系佐奈河内川災害復旧助成事業

令和2年7月豪雨により、佐奈河内川では、越水による家屋、農地などの浸水や護岸崩壊といった甚大な被害が発生した。災害復旧事業による原形復旧のみでは事業効果が限定されることから、災害復旧助成事業により、河道拡幅、橋梁架替等を行うことで、流下能力を向上させ、再度災害防止を図る。

【被害状況】

浸水家屋：265戸

【全体計画】

事業内容：河道拡幅
 橋梁架替
 堰改築 等

事業延長：2.36km
 （大村市今富町～立福寺町）

事業費：約26.2億円

事業期間：R2～R5



2 ダムの整備

問合せ先 河川課

洪水被害から沿川の人命や財産を守るとともに安定した水源の確保のため、ダム建設を推進します。

洪水の状況



長崎大水害（S57.7.23）の被災状況



平成2年水害（H2.7.2）の被災状況

川棚町



長崎大水害（S57.7.23）の被災状況

長崎市街



諫早大水害（S32.7.25）の被災状況



平成11年7月23日豪雨の被災状況

諫早市街

渇水の状況



散水車で水を陸上輸送



船舶で水を海上輸送



本明川の渇水状況

佐世保市 ○平成6年8月1日～平成7年4月26日
日本一厳しい給水制限264日間



佐世保市転石ダムの渇水状況



本明川の渇水状況

諫早市 ○本明川の水が不足し、魚が大量死
水不足による農作物被害約1億5千万円

土木部所管のダム

「洪水調節」「既得用水の補給など流水の正常な機能の維持」「新規水道用水の確保」にこれまで整備した35基のダムが役立っています。

建設中のダム



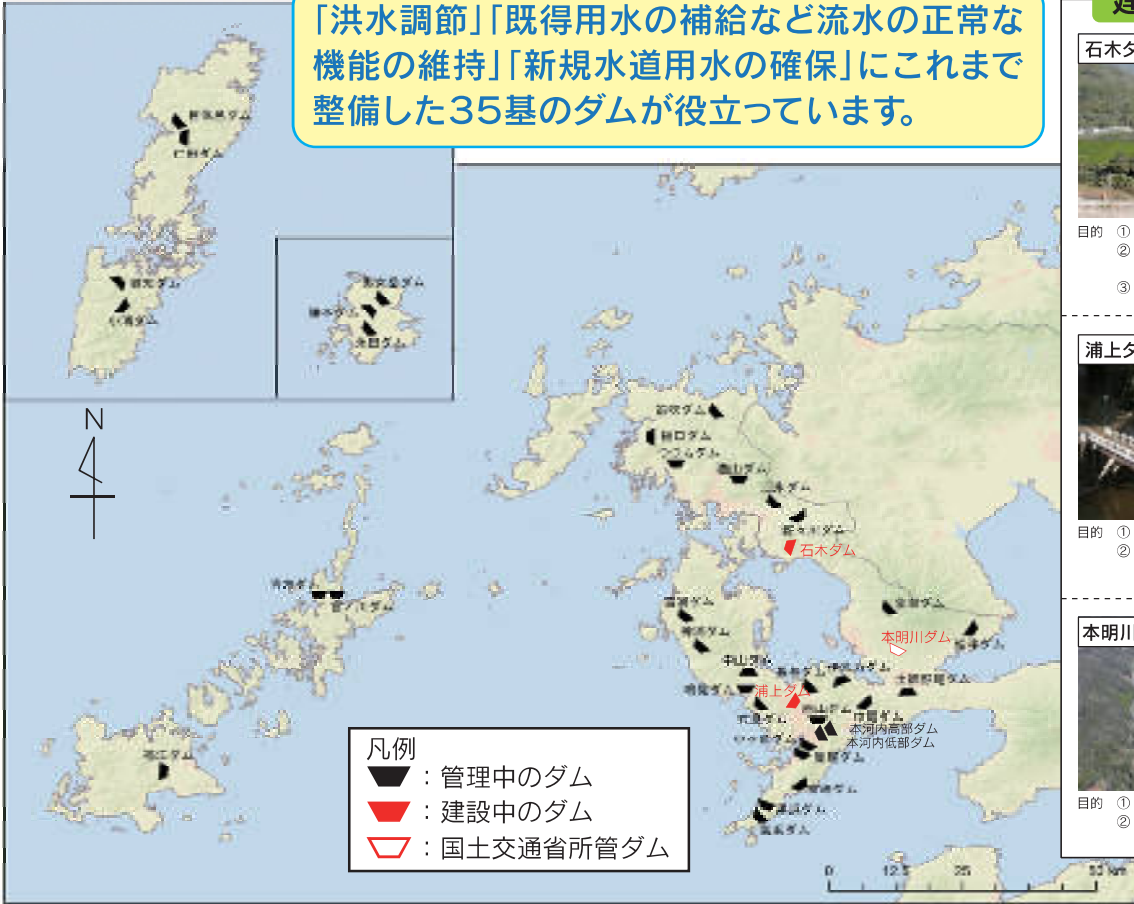
目的 ① 川棚川の洪水調節
② 川棚町、佐世保市の既得用水の補給など、流水の正常な機能の維持
③ 佐世保市の新規水道用水の確保



目的 ① 浦上川の洪水調節
② 長崎市の既得用水の補給など流水の正常な機能の維持



目的 ① 本明川の洪水調節
② 諫早市の既得用水の補給など流水の正常な機能の維持

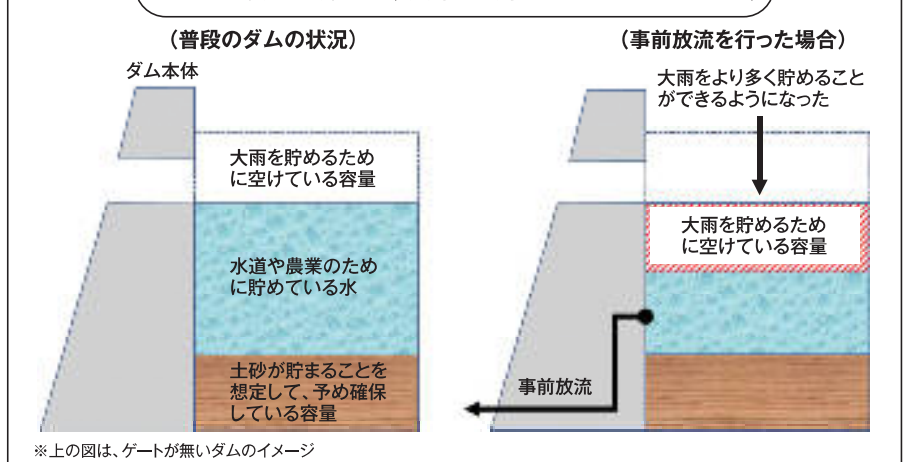


既存ダムの事前放流

ダムの事前放流とは、台風などによる大雨が予想される場合に、水道水や農業に使うために貯めている水の一部を、前もってダムから放流することです。これによって、大雨による水をより多く貯めることができるので、洪水被害を少なくすることができます。

長崎県では、47のダム※1（令和3年2月末時点）で、事前放流ができるようになっており、地域の皆様がさらに安全で安心した暮らしがおくれるよう取り組んでいます。

事前放流の効果（洪水を貯める容量の増加）



令和2年9月の台風の接近に伴い、対馬市の小浦ダムなど、県内の9ダムで事前放流を行いました。このダムからの放流中には、川の下流のパトロールを行い、いずれも事前放流による河川の急激な水位上昇もなく、事前放流を安全に実施できることを確認しています。

※1 農業用、水道用の利水ダムも含む

小浦ダムの事前放流 (対馬市)



事前放流時の小浦川 (対馬市)

